

# 事業名 おうめエコクラブ



1 実施団体  
民立おうめ楽校(うめ校)



### おうめこどもエコクラブ運営団体【うめ校】

まちの価値観に共感し、地域と協働するライフスタイルをめざす若者のコミュニティです。  
おうめこどもエコクラブは、環境教育を志す若者と、従来とは異なる環境講座を望む地域センターをつなげた結果できたプロジェクトです。

2 担当課  
環境政策課

3 実施時期  
2012年8月から2013年2月

4 参加者 142名

講座	参加者
8月:自由研究にぴったり環境学習講座	40
10月:自然の恵みと触れ合おう	20
12月:クリスマスリースとスノードームづくり	38
2月:たいようパワーを楽しもう	44

※参加者には講師・スタッフを含みます

5 実施場所  
新町市民センター、河辺市民センター

### 6 事業の目的

- ① 青梅市には自然という財産、自然に関わる活動・仕事をしている方がたくさんいるが、その特徴を活かしきれていない。そこで、青梅が持つ財産である自然について市内に住む子どもたちに伝え、青梅の自然環境に

- ついでに理解を広げる。そして環境活動へ視野を広げる手助けをする。
- ②さらには、こどもの活動から親世代の関心を広げ、アクティブに環境政策・活動に関わる大人のネットワークを作っていく。
  - ③また、新町市民センターは環境に特化した施設であるため、新町から青梅市に発信することも重要と考える。

## 7 役割分担

### ・ 団体の役割

<事前> 企画立案、講師の確保、講師との調整広報文の作成、  
広報（HP,FB など）

<当日> 進行、記録（カメラ）

<その他> 全国こどもエコクラブに登録、広報用チラシ作成

### ・ 担当課の役割

<事前> 参加者受付、会場確保、広報（広報おうめ）

<当日> 受付、進行お手伝い

## 8 事業の効果（どのような地域課題が解決できたか）

青梅市のよさを伝えられる講座にこだわり、実施してきました。枯れ木やどんぐりなど青梅で採れた資材を使うだけでなく、青梅出身の先生が講座を担当することで、子供たちもより親近感がわき、意欲的な講座参加へとつながったのではないかと思います。

また、環境に特化している施設、新町市民センターで計3回の講座を実施したことにより、青梅の環境の取り組みを市民への認知を広めることができました。新町市民センターがみどりのカーテンや太陽光パネルなどを採りいれていることから、その施設を活かした講座を実施しました。

今後も、青梅の人と自然が活かせる講座を作り、子どもたちの参加意欲がさらに高まるような体験学習の時間を作っていきます。

## 9 目標達成

- ・ 事業の目標：環境に関する講座を2ヶ月に1回実施する。  
全国でネットワークを広げる”こどもエコクラブ”に  
青梅の団体として登録することを目指す。

(参照：こどもエコクラブHP (財)日本環境協会 )

- ・ 目標の達成具合：達成

講座は2ヶ月に1回実施。講座内容は、講座の最後に実施するアンケート「次回はどういう環境のことを学びたいか？」という質問の答えで多い意見をかたちにする内容としました。こどもたちの「やりたい」をかたちにすることで、こどもたちが自主的に身近な環境については地球環境を考えるきっかけ作りの応援ができたと思います。

また、全国こどもエコクラブには2013年2月28日に“おうめこどもエコクラブ”として19名を登録。今後は青梅市のエコクラブとして、全国のエコクラブと交流をはかる活動もしていきたいです。

ただし最終的にはこどもから親子へ、そして家族から地域へと学びを深め、環境を考える輪が広がっていくために

- ・ 組織としては学んだこどもがスタッフへと継承されていくかたちへ
- ・ 青梅の自然環境の学習のみならず、3Rなど学びが多い講座へ
- ・ 青梅の講師陣を増やし、青梅市の方々が「伝えたい」をかたちにできる場へ

ともっと前進していきたいです。

## 10 事業の実施内容

2012年8月6日(月) 13:00-16:00

### 自由研究にぴったり！環境学習講座(おやつ付)

みどりのカーテンや太陽光発電などから、エコや省エネの大切さを知る

講師：森の演出家・土屋一昭氏、株式会社ノーリツ職員

青梅ガス株式会社職員、省エネ診断員(青梅ガス女子会)、

<p>2012年10月20日（土）10:00-12:00</p> <p><b>自然の恵みと触れ合う</b></p> <p>自分の考えた未来の地球をいろいろな自然素材で作る</p> <p>講師：森の演出家・土屋一昭氏</p>
<p>2012年12月15日（土）14:00-16:15</p> <p><b>クリスマスリースとスノードームづくり</b></p> <p>クリスマスをテーマにするを使ったリースとスノードームを作る</p> <p>講師：森の演出家・土屋一昭氏</p> <p>稲垣靖子氏（パルテノン多摩キッズファクトリー）</p>
<p>2013年2月16日（土）11:00-13:00</p> <p><b>たいようパワーを楽しもう</b></p> <p>ソーラークッカーで簡単な実験と調理をして実際に食べてみる。ダッチオーブンでクルミ入りチョコレートケーキ作り。</p> <p>講師：村井安成氏（元小学校教員）、森の演出家・土屋一昭氏</p>
<p>※2013年3月以降</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して講座を実施</li> <li>・おうめこどもエコクラブ HP 更新</li> <li>・市内小学校に配布するチラシの配布と作成</li> </ul>

## 11 実施団体と担当課の事業評価

4 はい 3 どちらかといえば「はい」 2 どちらかといえば「いいえ」 1 いいえ

調査項目	団体	担当課
(1) 事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	3	2
(2) 事業に最もふさわしい協働形態が選択された	3	3
(3) 協働の役割分担は適切だった	3	3
(4) 協働相手は適切だった	3	2
(5) 対等な立場での協力関係を築けた	4	4
(6) 協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	4
(7) 事業実施は円滑になされた	2	3
(8) 設定した目標が達成された	4	4
(9) 協働で行うことにより効果がある事業だった	4	4
(10) 今後の課題と改善策をお互いに話し合った	4	4

## 12 まとめ（今後の課題や改善点など）

今回の助成金では新事業の立ち上げに関するサポートをしていただいています。実際その効果はあがっており、市との共催ということで、新規事業である“おうめエコクラブ”自体の信頼性をあげることができました。また、4回講座を実施することで、保護者や子供たちへの認知度もあがり、特に講座を多く開催した新町周辺のお住まいの親子さん方に関しては、毎回講座に参加してくださるようになっていきます。

また、参加受付を市役所が担い、エコクラブスタッフができない日中の作業を可能にしてくださったことは、エコクラブを運営する上で非常に助かっていました。

一方、協働のあり方としては課題が残ります。青梅市の環境政策において同じ目的をもって望めたかという点に関して、「青梅の環境政策にどんな課題があるか」「具体的にどんな取り組みをしていくか」「おうめエコクラブの担う環境教育に関しては、どのようなプランがあるのか」など事業の背景にある政策目標を共有しきれておりませんでした。

以上のことから、今後は、青梅市環境政策の中でも政策効果のあがる講座内容にしていくために、担当者どうしのすり合わせをより進めていけたらと考えています。

※来年度は青梅の森のこどもの活用について考えようというお話しは頂戴しました。

## 13 その他

### <成果物>

- ・HP：<http://www.umekou.net/Ecoclub/>
- ・チラシ（別紙参照）

### <活動写真> ※その他はHPの「活動実績」よりご確認ください



みどりのカーテンの効用を  
赤外線放射温度計で調べる



こどもたちの考える未来の地球

### <アンケート考察>

- ・こどもたちのやりたい講座は料理がダントツに多く、次に課外授業・遠足・工作・森の探検など自然について知るなどが続いた。
- ・来ているこどもたちはまとめにあったように新町周辺の子が多く、特に若草小学校・新町小学校の児童が多かった。  
また、幼稚園児も多くみられた。
- ・学年としては5年生が多く、3年生4年生と続いた。
- ・リピーター率が50%を越え、「自分の希望した講座を形にしてくれて嬉しかった」という意見があった。
- ・「学校で学んだことを講座で深められた」という意見もあり、学校教育の学びの手助けもできたのではないかと思う。
- ・「幼児には少し難しかった」という意見もあったため、幼児向けという講座を今後は検討していきたい。